

寿楽苑だより

121号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 5年 1月20日

スイーツ交流会



12月20日、広場に入居者様・利用者様が集まり、スイーツ交流会を開催しました。

会場には、クリスマスのケーキやお菓子などが準備されており、入居者様は、その中からご自分の好きな物を選ぶことができます。

「好きなが、自分で選ぶがちゃ、楽しいもんやわ」

「たまには、こいがもいいね」

「一足早いけど、クリスマス気分になってきたよ」

「おいしいが食べてのおしゃべりが、一番やちゃ」

このスイーツ交流会は、NHK歳末たすけあい助成を受けて開催したものです。

新年お楽しみ会

元日は、大晦日に放送された、紅白歌合戦テレビの録画鑑賞です。

「私、途中までしか見られなかったから、最後のへん、どいがなったが、見たかったが」

「若い歌手の人たちが多かったけど、懐かしい人も出とったから、良かったよ」

テーブルに飾られた花などに目が止まったのか。

「お花、上手に生けてあるね」

「そこにある鏡餅ちゃ、本物ながけ。でっかいぜ」

「去年は、雪だるま作れるほど雪あったがに、そと見っしやい、今年は全然やもん」



福笑いゲームが始まると、目隠しをした入居者様が「これ、目け。それとも、まゆ毛やったけ」。

すると、周りにいた入居者様が、「それ、まゆ毛やぜ」と、ニコニコしながら教えます。

続いて、お菓子の時間になり、抹茶と和菓子、ロールケーキをいただきます。

「こいっばい、もろて食べてもいいが」

「甘て、おいしいから、いくらでも入るわ」

「抹茶は久しぶりやし、今日は本格的やね」

入居者様、写真撮影では職員に笑顔で「家族へ、元気ですって伝えてね」。



ひばり野苑



クリスマススイーツ交流会

12月22日、ユニット広場でクリスマススイーツ交流会を開催しました。会場はクリスマスの飾りで、いつもとは違う雰囲気。クリスマスの曲が流れる中、ケーキやジュース等、好きな物を召し上がっていただきます。

今回、カラオケを準備したところ、評判は上々。

画面を見ながら、「私、これ歌えるよ」「うん、これおもっしょいね」などと、元気いっぱい熱唱する入居者様は、とても楽しそうでした。この事業は、NHK歳末たすけあい助成で開催したものです。



お正月遊び



元日の午後、入居者様に、宝引きと福笑いなど、お正月遊びをして楽しんでいただきました。

福笑いでは顔を完成させたものの、目隠しをはずし出来栄を見て、ご自分で大笑いする入居者様。

周りの声に耳を傾けようとしなかったのに、結果とても綺麗な顔に仕上げた方など、様々です。

その後、参加者全員で録画してあった大晦日の紅白歌合戦を見ながら、和菓子、ケーキ、抹茶などを、おいしくいただきました。



デイサービス

新年お楽しみ会は、「お年玉入れゲーム」と「福笑い」

新年お楽しみ会として、1月の4日と5日は、お年玉入れゲーム。そして、6日と7日は、福笑いを行いました。

お年玉入れゲームとは、札の貼ってある紙コップに向ってボールを投げ、ボールが入ったコップの札に書かれた金額の合計を競うというもの。

ボールを持つ手に力を入れ過ぎると、遠くの方へ。また、弱すぎるとコップまで届かず、そのあんばいが難しかったようで、「あっ、やっと入ったわ」。



福笑いでは、職員手作りの目隠しをつけて、おかめ、ひよっとこの顔などに挑戦です。

「頭の中では、もっといい顔になっただがに」

「でも、えらい上手にできとらっしゃるねか」

「これ、誰やらの顔に、似とるような気がするわ」

「こい、おもっしょい顔の人、どこにおらしたげ」

ゲームの次は、おやつです。干支が描かれた饅頭と、花の描かれた練り菓子の2種類で、利用者様は「可愛らして、食べるがもったいないね」。



年忘れ大忘年会

12月21日、3か所に分かれて、年忘れ大忘年会を開催しました。

それぞれの会場には、ケーキ、和菓子、ノンアルコールビールなど、何種類もの食べ物と飲み物が準備。

入居者様は、ご自分の好きな物を選ぶことができ、職員が、揃いのチェックのスカートで、きつねダンスを披露すると、入居者様は大喜びでした。

この年忘れ大忘年会は、NHK歳末たすけあいの助成で実施したものです。



おせち料理



元日、入居者様におせち料理を準備。どの入居者様でも食べやすいよう、一品ずつ職員が丁寧に手を加えたものです。

「いつもより、えらい豪華やね」

「こんないいもの、頂いていいがですか」

「おせち食べたら、正月って感じがするわ」

食べ終わってから「まだ、どこかに残っていませんか」と、お代わりの声を上げる入居者様もいるなど、目と舌で楽しめるおせちは大好評でした。

行 事 等

おしゃれ撮影会

11月27日と29日の午後、おしゃれ撮影会を行いました。

入居者様にお化粧をしてもらい、アクセサリーをつけたりして、綺麗になっていただきたいと企画。

使用する、口紅やアイシャドー、スカーフ、首飾り、ブローチなどは、職員がそれぞれ持ち寄ったもの。

お化粧は、職員がお手伝いです。

「この口紅、はじめての色やけど、似合うかね」

「ほら、鏡見てください。素敵ですよ」



普段、あまり行事に参加しない入居者様も、この日は、とても積極的です。

「座って、やってもらえるがなら、いいわ」

「富山のデパート行くととき、いっちょうら着て、きれいに化粧したもんや」

「そうそう。大好きなブローチ、つけてね」

入居者様は、鏡に映ったご自分の顔を見ると、とても嬉しそうな表情に変わります。

写真撮影では、モデル気分になって「はいポーズ」。

まごころ善意

令和 4年11月18日～令和 5年 1月17日
(順不同・敬称略)

寄付金

・角井 哲夫 ・匿名



寄付物品

- ・若林 清彦 ・小森 弘義 ・早川 久義 ・中島 久美子 ・角井 哲夫 ・宝田 美幸 ・松澤 昌人
- ・西尾 紀子 ・匿名

ありがとうございます



ご家族様・関係する皆様へ

新型コロナウイルス感染についてのお詫び

12月から1月にかけて発生しました新型コロナウイルスの感染では、入居者様・利用者様をはじめ、ご家族様・関係する皆様へ大変ご迷惑をおかけしたことににつきまして、心からお詫び申し上げます。

現在、感染は収束しており、日常生活へ戻っておりますことをご報告いたします。

職員等関係者一同、今回の新型コロナ感染について深く受け止め、再発防止はもちろん、他の感染症等も含め、その対応に全力を尽くして努めて参る所存です。

関係する皆様には、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、お詫びとさせていただきます。

施設長 高村 敏明

500回目の上映会



令和4年12月1日、1階広場で「美空ひばり」ビデオ上映会を開催しました。

上映会は、この日がちょうど500回目。

第1回目は令和元年11月2日、場所は今回と同じ1階広場。

3年1か月間続けることができ、お陰様で節目となる500回目の上映会を迎えることができました。

この日のビデオは、「最後の絶唱全25曲 美空ひばり」。入居者様は、懐かしい美空ひばりの歌声と、きれいな衣装などを、大画面で楽しんでいました。



上映会は、関係する方々からご寄贈いただいたビデオテープ等を活用。また、保管しているDVD、ビデオ、CD、カセット、レコード等は、登録総数で400件を越えており、パソコンのデータベースを用いて、検索等ができるよう管理を行っています。

編集後記

休みの日に散歩へ出かけた時のこと、道路沿いにある田んぼに、黄色いビニール袋と、果物の食べ残しや紙などが捨てられているのを見つけた連れが、「田んぼの中にゴミ捨てるなんて、いったいどんな心を持つとる人なが」。そして、「もし、自分の家の玄関先に、ゴミ捨てられたら、どう思うか分かんはずなかるに」。

「自分で汗水流しとらんから、分かんがいろ」と私。そして、「そう言うたら、働いて手にしたお金は、もったいなて1円でも大事にするがに、簡単に手に入ったお金って、どうして必要ないもんに使ったりするがいろ」。すると「同じお金やけど、そこに自分の思いがどれだけ詰まってるかで、違うがじゃないが」と連れ。

その時は悪いことをしたとの意識がなくても、心の奥にはいつまでもそのことが残るはず。後日どうしてやったのかと、詰まっていた冷や汗が流れて顔から火が出る恥ずかしい思いは、ゴミ捨て君よ、もう絶対に。